



平成26年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月10日

上場会社名 トミタ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6898 URL http://www.tomita-electric.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 哲郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 太田 寛 TEL 0857(22)8441
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第2四半期の連結業績（平成25年2月1日～平成25年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第2四半期	730	7.0	6	-	60	-	74	-
25年1月期第2四半期	683	17.0	87	-	56	-	60	-
(注) 包括利益	26年1月期第2四半期		126百万円 (-%)		25年1月期第2四半期		68百万円 (-%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第2四半期	11.24	-
25年1月期第2四半期	9.15	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
26年1月期第2四半期	4,451	3,681	82.7	
25年1月期	4,383	3,555	81.1	
(参考) 自己資本	26年1月期第2四半期	3,681百万円	25年1月期	3,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年1月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,586	11.5	19	-	27	76.1	22	79.8	3.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信（添付資料）P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年1月期 2 Q	8,169,793株	25年1月期	8,169,793株
26年1月期 2 Q	1,570,376株	25年1月期	1,569,676株
26年1月期 2 Q	6,599,760株	25年1月期 2 Q	6,601,423株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済といたしましては、雇用環境や住宅市場など米国の実体経済が着実な回復を示している一方で、政府債務問題に起因する信用不安を払拭し切れない欧州経済は、依然として低迷が続いております。また、中国、インド等の新興国経済は比較的堅調に推移しているものの、成長率の低下、インフレ圧力など不透明感も増して来ております。

我が国経済におきましては、アベノミクス効果により公共投資や個人消費が底堅く推移する中で、為替の円安傾向に伴う輸出の持ち直しにより企業の景況感も改善され、緩やかな回復を見せております。

当電子部品業界といたしましては、自動車産業の活況により車載関連の需要は順調に推移いたしましたが、電子機器ではスマートフォン、タブレット端末以外は低迷が続いており、産業機器分野では機械設備及びエネルギー関連の需要が堅調に推移いたしました。

この様な市場環境の中で当社グループは、小型フェライトコア及びコイル・トランス製品を中心とした拡販活動を国内外市場で積極的に展開いたしました。また、海外での製造原価低減と品質改善に取り組み、世界競争に打ち勝つことの出来る高性能で高品質の製品を生産すべく活動を続けてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は7億3千万円（前年同期比7.0%増加）となりました。内訳といたしましては、コイル・トランス販売は海外市場向けが伸び悩みましたが、フェライトコア販売は車載向けを中心に国内外市場で順調に推移したことから、売上全体としては前年同期を上回る結果となりました。

損益面では、売上高の増加、原価率の低減、経費等の削減努力により営業損失は6百万円（前年同期は8千7百万円の営業損失）と大幅に縮小いたしました。経常利益は営業外収益における為替差益等により6千万円（前年同期は5千6百万円の経常損失）、四半期純利益は投資有価証券売却益等により7千4百万円（前年同期は6千万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6千7百万円増加し、44億5千1百万円となりました。このうち、流動資産は20億9千3百万円、固定資産は23億5千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて5千8百万円減少し、7億7千万円となりました。このうち、流動負債は1億7千8百万円、固定負債は5億9千1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億2千6百万円増加し、36億8千1百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億3千4百万円減少し、8億2千7百万円（前第2四半期連結会計期間末残高は9億4千6百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用した資金は、2億6百万円（前年同期は3千3百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益になったものの、売上債権、たな卸資産及びその他の流動資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は、3千万円（前年同期は2千万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、3百万円（前年同期は3百万円の減少）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年6月10日に公表いたしました当初の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	961,849	827,373
受取手形及び売掛金	356,622	450,063
商品及び製品	184,960	223,679
仕掛品	168,110	199,745
原材料及び貯蔵品	200,942	228,969
その他	119,799	163,778
貸倒引当金	196	219
流動資産合計	1,992,087	2,093,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	222,824	221,048
機械装置及び運搬具(純額)	23,871	25,698
土地	1,766,275	1,766,275
リース資産(純額)	3,737	3,131
その他(純額)	21,214	19,303
有形固定資産合計	2,037,922	2,035,457
無形固定資産		
投資その他の資産	50,245	54,525
投資有価証券	301,825	266,836
長期前払費用	1,708	1,396
その他	658	484
貸倒引当金	535	362
投資その他の資産合計	303,656	268,355
固定資産合計	2,391,824	2,358,339
資産合計	4,383,912	4,451,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,855	76,001
未払法人税等	10,100	6,971
未払費用	65,255	62,324
賞与引当金	5,298	5,298
その他	28,994	27,629
流動負債合計	193,504	178,225
固定負債		
リース資産減損勘定	2,314	1,073
繰延税金負債	19,315	11,690
再評価に係る繰延税金負債	237,721	237,721
退職給付引当金	115,436	79,347
役員退職慰労引当金	231,537	237,293
その他	28,661	24,747
固定負債合計	634,986	591,874
負債合計	828,491	770,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,818	1,966,818
資本剰余金	1,334,518	1,334,518
利益剰余金	267,514	341,700
自己株式	226,588	226,700
株主資本合計	3,342,264	3,416,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,686	26,841
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	99,290	40,308
その他の包括利益累計額合計	213,156	265,294
純資産合計	3,555,420	3,681,631
負債純資産合計	4,383,912	4,451,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
売上高	683,172	730,889
売上原価	559,975	507,695
売上総利益	123,197	223,194
販売費及び一般管理費	210,840	229,699
営業損失()	87,643	6,505
営業外収益		
受取利息	232	187
受取配当金	2,752	2,918
為替差益	21,671	60,263
雑収入	6,607	5,150
営業外収益合計	31,263	68,519
営業外費用		
製品補償費用	-	1,718
雑損失	613	176
営業外費用合計	613	1,894
経常利益又は経常損失()	56,993	60,120
特別利益		
固定資産売却益	-	35
投資有価証券売却益	24	17,139
特別利益合計	24	17,174
特別損失		
固定資産除却損	1	-
投資有価証券売却損	-	556
投資有価証券評価損	880	-
特別損失合計	882	556
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	57,851	76,738
法人税、住民税及び事業税	2,553	2,553
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	60,404	74,185
四半期純利益又は四半期純損失()	60,404	74,185

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2月 1日 至 平成24年 7月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 2月 1日 至 平成25年 7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	60,404	74,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,561	6,844
為替換算調整勘定	2,342	58,981
その他の包括利益合計	8,218	52,137
四半期包括利益	68,623	126,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,623	126,322
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	57,851	76,738
減価償却費	31,406	33,447
長期前払費用償却額	339	321
のれん償却額	2,605	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	13	150
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,256	36,089
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,572	5,756
受取利息及び受取配当金	2,984	3,105
為替差損益(は益)	11,374	68,383
有形固定資産売却損益(は益)	-	35
投資有価証券売却損益(は益)	24	16,583
投資有価証券評価損益(は益)	880	-
有形固定資産除却損	1	-
売上債権の増減額(は増加)	6,640	75,007
たな卸資産の増減額(は増加)	61,328	62,352
その他の流動資産の増減額(は増加)	24,305	36,903
仕入債務の増減額(は減少)	1,427	10,825
その他の流動負債の増減額(は減少)	1,632	10,779
その他の固定負債の増減額(は減少)	4,203	1,241
小計	34,192	205,194
利息及び配当金の受取額	2,989	3,125
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	3,242	4,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,939	206,956
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	8,522	6,236
有形固定資産の売却による収入	-	64
投資有価証券の取得による支出	1	-
投資有価証券の売却による収入	3,410	37,103
子会社株式の取得による支出	15,679	-
長期前払費用の取得による支出	-	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,793	30,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	186	112
リース債務の返済による支出	2,913	3,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,099	3,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,796	45,076
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,842	134,476
現金及び現金同等物の期首残高	934,668	961,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	946,510	827,373

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。